

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	工場実習
	学部・研究科等名	工学部地球総合工学科船舶海洋工学コース
	担当教職員名・役職	船舶海洋工学コース全教員
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	25
	受入企業等数	20
受入企業等名	ジャパンマリユニテッド、三菱重工業、三井造船、住友重機械工業マリンエンジニアリング、川崎重工業、石川島播磨重工業、名村造船、大島造船所、新来島どっく、今治造船、常石造船、サノヤス造船、日本郵船、商船三井、川崎汽船、海上技術安全研究所、国土交通省、日本海事協会、フランス船級協会、DNV-GL船級協会、等	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	造船所・製鉄会社・船舶運航会社・船級協会・国土交通省・国立研究所等において2週間程度の実習を行う	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	学部3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学部3年次の夏季休業中に2週間程度で実施する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	造船業における設計製造業務の基礎技術を専門科目で講述している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップに参加した学生にレポート提出を課している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	全教員が交代でインターンシップ受け入れ先を訪問し、視察と受け入れ先との懇談を行っている。
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他	

要素④	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	受入れ先に実習内容と実習生の個人達成度評価を報告することを励行いただいている。視察教員は企業からの報告・評価内容を書面で全教員に報告して教育的効果を把握している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先訪問時に教員が受入先企業の人事担当者にインタビューした結果を全教員に回章している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日以上10日以下(休日を除く)
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	8月～9月の間で1～2週間の実習に参加させている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入れ企業に実習生の個人達成度評価の励行をお願いしている。視察教員は企業の評価結果を書面で部門に報告し、問題があった場合は企業に実習内容の改善を申し入れることになっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	大阪大学
	担当部署名	教育・学生支援部 学生・キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	06-6950-6115
	メールアドレス	gakusei-sien-career@office.osaka-u.ac.jp